

特別賞

私にできること

高輪台小学校 北川 理乃

「この木何の木、気になる、気になる」という歌がありました。私の学校の周辺にある、高輪地区総合支所の裏手の台地には、まさに、その気になる『天然記念物に指定されている、ブナ科のスタジイ』が立っています。「いつから?」と言うと、あの有名な「忠臣蔵」も知っているらしいです。すでに、三百年以上は、雪にも雨にも猛暑にも負けずにじっと、見守り続けています。

私は、この作文を書くに当たり、会いに行つて来ました。初めてじっくり見たスタジイは当然、何も言ってくれませんが、大きく立派なその木は「ようこそ」と話しかけてくれました。私は、「ただいま」をするような、暖かさに包まれ、優しい気持ちになりました。私は、木の持つ不思議なパワーに酔ってしまいました。このパワーをいつも、みんなに送り続けるのだと思いました。

私たち人間と植物の関係は、「木が二酸化炭素を吸って酸素を出す」という運命共同です。

しかし、私達は、木を切り続けて、森が減っています。毎年日本の三分の二にあたる面積の熱帯林が消えているの

です。これは人間と植物のバランスがくずれていく深刻な問題です。その結果、地球温暖化や異常気象、災害など地球全体へのえいきょうが心配されるからです。

現在では、その対策として世界各国が協力して行動計画を立て専門機関が組織されています。では、私達は、何をすればいいでしょうか。

今年は東日本大震災で計画停電をしなければいけませんでした。あんなに明るかった品川も暗くなり、今は東京都市名古屋より暗いそうです。

でも、私はこのことにより『今までの明るさ』は必要なかったと思えるようになりました。暑かった夏は温度を高め設定しても、快適にすごせました。こまめに電気も消しました。短くなったえん筆を使ったり、マイはしを持ち歩きました。考えればもっとたくさんことができます。

私達は、自分達ができる、小さいことを積み重ねて、様々な災害や開発の波からのがれて生き残ったスタジイを守つていこうと思えました。

私は、アメリカのシンボルは自由の女神、日本のシンボルは富士山、港区のシンボルは東京タワー、高輪のシンボルはスタジイだと思いました。